

校長室だより（卒業式特別号）

義理と人情

GIRI・NIN

「義理」・・・人のふみおこなうべき正しい道。人の好意や信頼に報いようとする気持ち。
「人情」・・・思いやり。情け。人間が生まれつき備えている感情。

2023年3月11日 江別第一中学校長 鹿野 秀一

～139名の生徒たちの未来に幸あれ！～ 卒業おめでとうございます！ 「正解」を求めて、挑戦し続けてきたみんなに感謝！

3年生のみなさん、そして保護者のみなさま、ご卒業おめでとうございます。

あなたたちの中学校生活は、3年間全てが新型コロナウイルス感染症とのたたかいでした。みんなで抱き合って泣いたり、笑ったり、ぶつかり合ったり、じゃれ合ったりといった「濃密な青春」を過ごすことが出来ず、辛い思いをした3年間。

それでもみんなは、仲間を思いやり励まし合い、多くの仲間との絆を深め、失敗しながらも幾つもの壁を乗り越え、最高の卒業生に成長しました。先生や親に支えられながら挑戦し続けてきたあなたたちの生き様は、まさに「正解」そのものだったと確信しています。

みなさんには、人生の節目となるこの卒業式での「感動の心」と「感謝の気持ち」、新たな世界へ向かう「決意」、そして「義理と人情」を忘れることなく、これからの人生を一步ずつ力強く歩んでいって欲しいと思います。そして、本日、江別第一中学校を巣立った139名の生徒たちの未来が輝かしいものとなるよう教職員一同心から願っています。

いつまでもあなたたちを応援しています 顔晴れやかに笑顔でがんばりなさい！



先が見えない社会、「正解」はわからない・・・ 採点基準は私たちのこれからの人生

この後、みんなは一步ずつ大人への階段を踏み上がり、社会に出て行くことになります。これからの社会は、「これまで経験したことのない複合的な問題に直面する」「今まで通りでは通用しない」「正解が見えない」社会であると言われます。このような中で、幸せな人生をつかみ取っていくためには、主体性を持ち、多様な人々と協力して、問題を発見し、答え（最適解、納得解）を見出していく力が求められます。

みんなは、新型コロナウイルス感染症との戦いの中で、わからない「正解」を求めて、自分の考えをしっかりと持ち、みんなと協力して知恵を絞って問題を解決し、江別第一中学校を「正解」に導いてきました。この培った力をこれからもどんどん成長させ、先が見えない社会でも「夢」を、「なりたい自分」をつかみ取り、**正解だったと言える人生**にして欲しいと強く願っています。

これからの人生、江別第一中学校で過ごした3年間の経験を活かし、力強く生き抜いていくことを信じています。「**正解**」を求めて・・・**採点基準は私たちのこれからの人生**です。

家族、先生方、在校生は、いつもみんなを応援しています。**顔晴れ！負けるな自分！**

温かい心の「恩送り」を

誰かから受けた恩を、自分は別な人に送る。そして、その送られた人がさらに別の人に渡す。そうして「恩」が世の中をぐるぐる回っていくこと。

卒業生のみなさんが、つまずきながらも少しずつ成長できたのは、家族はもちろん周りの友だち、先生方が支え、見守ってくれたから。また、目に見えて支えてくれた方々だけではなく、見えないところで学校の環境整備をしてくれた職員の方、登下校を見守ってくれた地域の方々など、数え切れないたくさんの方々のお陰であることを忘れてはいけません。そんな方々に感謝の気持ちを表すとともに、自分がされてきた温かい心を今度は、ほかの人たちに振りまいていく。そうやって世界中に広がっていく。

それが「恩送り」、きっと世の中を変えていくことにつながっていくと思うのです。

江別第一中学校卒業生みんなで、これからの世の中を変えていこう！「**恩送り**」・・・。

卒業生の保護者の皆様、ありがとうございました

本日、遅くも成長した139名の子どもたちが江別第一中学校を旅立ちました。15歳の若者たちは、このあと厳しい社会の中で、壁にぶち当たり、もがき苦しみなながらも、たくさんの方々のやさしさに包まれながら、一步ずつ自分の夢に向かって突き進んでいくことになります。

保護者のみなさまには、これまで15年間、いつも子どものそばに寄り添い、陰に日向に支えてくださったことに改めて敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。

私たち教職員も、お預かりした子どもたちの成長のためにと、全身全霊を込めて教育活動に当たってきたつもりであります。十分ではなかったこともあったかとは思いますが、子どもたちは悩み苦しみ、試行錯誤しながらも期待に応え、大きく成長してくれたように思います。

私たちにとって、本当に自慢の子どもたちでした。

中学校の卒業は、義務教育の修了、そして新たな社会への旅立ちを意味します。これからは大人の仲間入り。すべてにおいて自分の意志で選択して行動し、その言動には必ず責任が伴ってきます。とは言っても、まだまだ発展途上の子どもたちです。多くの場面で失敗や挫折、克服を繰り返しながら成長していくことになります。

これからも、今まで以上に、子どもたちを温かく見守り、支えてくださいますようお願いいたします。また、今後は地域住民として、学校にご支援とご協力をいただければありがたく存じます。

3年間本当にありがとうございました。

江別市立江別第一中学校長 鹿野 秀一